

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



厳しい暑さの続いた夏が
やっと過ぎ、肌を感じる風
も爽やかに、しのぎやすい
季節になりました。
空高く澄みわたり、秋も身
近に感じられます。

季節の変わり目は、まだ夏の疲れが残っていて、体調
のすぐれない人もきっと多いはず。

そんな時は、十分な休養と栄養をとり、無理をせず、
よく眠ることを心掛け、秋本番に備えましょう。

スポーツ・芸術・読書・行楽そして食欲の秋・・・。
楽しいことがいっぱいありますね。

お元気で楽しい毎日
をお過ごしください！



では今回も引き続き、業者さんを紹介させて
いただきます。

今回はインテリア大和さんです。

住まいづくりの中で、とても大事なポイントである
内装（クロス）工事。

壁紙一つで部屋の雰囲気がガラリと変わってしまう
こともあります。

数え切れない程のサンプル帳の中から、「これ！」
と決めるのは、もちろんお施主様ですが、それを貼
るのが大和さんの仕事です。



壁や天井のクロスは、毎日、生活する
中でとても目に付きやすい部分です
から、施工の際はとても神経を使いま
す。
柄合わせ、シワは出来ていないか？

等等・・・細部にまで、こだわります。

時々、長〜いお付き合いに甘え、無理なお願いを
してしまうこともあります。いつも笑顔で引き
受けてくれる頼もしい存在です。

趣味＝仕事というほど、仕事が好き。
休日の仕事も厭いません。

ご家族とゆっくり楽しむ時間もないのでは？と
少し気になりますが、

「元気があれば何でもできる！」
と、頑張ってくれています。

笑顔と気配りは一緒に仕事をする
人たちからも一目置かれています。

これからも、健康にはくれぐれも気をつけて、
皆さんに喜んでいただける住まい作りを一緒にで
きることを願っています。どうぞよろしく！！

中秋の名月

お月見といえば、旧暦の8月15日が、十五夜
のお月さま。

一般的には、すすきやお団子を供えて月を観る
ことを指します。

十五夜を芋名月と呼ぶのに対して、豆名月とも
栗名月とも呼ばれる十三夜があります。

以前は、十五夜に次いで月が美しいと言われた
十三夜（旧暦9月13日）にも、月見の宴が催
されたそうです。

秋深まる頃の名残りの月を愛でるのもまた、
ゆかしい気分。

満ち欠けを繰り返す月の一つ
ひとつを呼ぶ月齢の表現には、
日本人の思い入れを感じます。



イチゴのケーキ



あるケーキ屋さんで見かけたシーンです。

私が、バッグからお財布を出して、支払いをしようとしていた時、表のガラスドアが開いて、5～6歳くらいの女の子が入ってきました。

顔を赤くして、必死の面持ちで、「あのう、すみません・・・」と声を掛けました。

私の相手をしていた店員さんが、「は～い」と言って、その子の方に向き直ると、彼女は、

「あのう、イチゴのケーキはひとつ何円でしょうか？」と丁寧な口調で尋ねました。

店員さんは、その女の子の必死の気配がおかしかったのか、「四百三十円です」と笑いながら答えました。

女の子は、人気キャラクターが描かれている、自分の小さながま口を開け、

「二百円、三百円・・・」と声を出してお金を数えていましたが、

「ああ、ないー」と、悲しそうな声を出し、そして、「どうもありがとうございましたー」と、今にも泣きだしそうな顔で言うと、がま口も閉めず、ペコリと頭を下げ、ガラスドアの方へ向かって駆け出しました。

彼女にとってその日は厄日だったのか、ドアの前で、お店に入ってきた他のお客と衝突し、口の開いたままだったがま口からお金をばら撒いてしまったのです。

子供にぶつかるなんて、なんと不注意な人だろうと思って衝突相手を見ると、その人もさすがに悪いと思っただけで、

「ああ、ごめんね」と言いながら、急いでその場に屈み込み、女の子と一緒に散らばってしまったお金を拾い集めだしました。

「二百円、三百円、四百円、ほら、四百八十円あるよ。ダメだよ、ちゃんと数えないと」と、拾ったコインを女の子の小さな手に渡しながらいいました。

「あれ～、本当だ～。
イチゴのケーキが買える！！」
女の子は嬉しそうにコインを握りしめ、再び私の横に戻ってきました。



そして、もう一度言いました。
「イチゴのケーキをひとつ下さい！」

大好きなお母さんのお誕生日だったのかな？
嬉しそうな笑顔が、とっても可愛かったです。

「編集後記」

2020年夏季五輪・パラリンピックの日本開催が決まりましたね。

経済再生や、東日本大震災からの復興が思うように捗らない・・・等多くの課題を抱える中での決定報道に日本中が湧きました。

これを起爆剤として、皆に元気が戻るといいですね。

日本が一丸となって勝ち取ったこの東京五輪。

「おもてなし」のところで、夢の祭典が成功することを願います。

今月もお読みいただき有難うございました。
ご意見・ご感想をお聞かせいただけると嬉しいです。



編集責任者

渡辺 田鶴子